



2020年7月29日
学校法人札幌日本大学学園
株式会社シーラクス

(共同リリース)

北海道初の取組み！ 札幌日本大学学園、シーラクスとパートナーシップ提携を締結 ～北海道における教育市場の発展と人材育成を推進～

学校法人札幌日本大学学園(本社:北海道北広島市、理事長・校長:浅利 剛之、以下「札幌日本大学学園」)とサツドラホールディングス株式会社(本社:北海道札幌市、代表取締役社長:富山 浩樹)のグループ企業であり、教育事業を展開する株式会社シーラクス(本社:北海道札幌市、代表取締役社長:藤澤 義博、以下「シーラクス」)は、北海道の教育業界の発展と社会で活躍する人材の育成を目的にパートナーシップ提携(以下「本提携」)を締結いたしました。

本提携において、シーラクスは、札幌日本大学学園が推進するICT教育ビジョンに基づき、両者のもつICT教育ノウハウを活かし、中学校における技術・情報課程の授業をプロデュースするとともに、2020年度から、エンジニア、プログラミングスクール講師を派遣した授業を開始いたします。これにより、両者は、札幌日本大学学園がかかげる人材育成像である「世界で貢献する人」づくりに邁進してまいります。

なお、中学校と民間のプログラミングスクールが共同でプログラミング教育のカリキュラム作成やプログラミングの授業を実施するのは北海道では初の取組みとなります。^{※1}

1. 本提携の背景

近年、教育分野において、テクノロジーを教育に活用するEdTech(エドテック^{※2})に対する注目度が高まっており、AIやビッグデータ等の新しいテクノロジーを活用した様々な取り組みが進められています。他方、文部科学省からは「子供たち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育 ICT環境の実現」を目指すGIGAスクール構想^{※3}が打ち出されるなど、教育現場におけるICT環境の整備も同時に進められています。

また、今年度よりスタートした文部科学省の新学習指導要領において、2020年度から小学校でプログラミング教育が必修化となり、2021年度からは中学校、2022年度には高等学校にもプログラミング教育が導入されることが決定しています。

^{※1} シーラクス調べ。

^{※2} EdTechは、教育(Education)とテクノロジー(Technology)からなる造語で、IT技術を教育分野に活かす取り組み全般を指す。

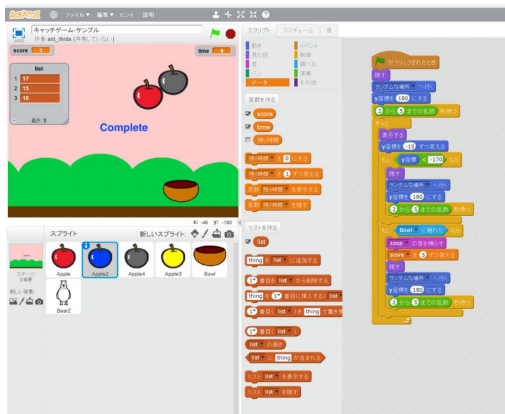
^{※3} GIGAスクール構想とは、Global and Innovation Gateway for Allの略で、児童や生徒向けに1人1台の学習用端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する構想を指す。

札幌日本大学学園は、道内でも一早く創部したロボット部が全国大会で活躍する一方、文部科学省のSSH（スーパーサイエンスハイスクール）・SGH（スーパーグローバルハイスクール）の指定校として、国際バカロレア、国際交流等の活動を積極的に行ってまいりました。また、新型コロナウイルスの影響により全国的に子供たちの学びの環境が変化中、いち早くタブレット端末の導入を行い、ICT教育の推進やリモートラーニング、集合研修とeラーニングを組み合わせ Blended Learning（ブレンディッド・ラーニング）を取り入れるなど、最先端の学びの環境整備を行ってまいりました。

他方、シーラクスは「北海道と世界を「教育」と「テクノロジー」で繋ぐ！」をビジョンに掲げ、幼児からシニアまで幅広い年齢層を対象に、国語、算数（数学）、英語、プログラミングなどが学べるデジタルスクール「D-SCHOOL 北海道」を展開してまいりました。

このような状況のもと、札幌日本大学学園とシーラクスの両者が持つICT教育のノウハウや企画・開発力、商品・サービス力等を融合することにより、大きなシナジー効果が期待できることに加えて、継続的な協力関係を構築できるものと判断したことから、本提携を締結するに至りました。

今後、両者は本提携を通じ、未来を担う子供たちの人材育成をはじめ、21世紀の教養と言われている「プログラミング的思考」を育むことにより、生徒の「課題発見」「論理的思考」「創造的思考」の力を伸ばしていきたいと考えています。加えて、社会への貢献と、さらなる教育サービスの品質向上に努めるとともに、新たな教育カリキュラム開発にも積極的に挑戦してまいります。



※画像はイメージです。

※アメリカのマサチューセッツ工科大学（MIT）のメディアラボが開発したプログラミング学習用ソフト「Scratch（スクラッチ）」を活用したプログラミング学習



2. 提携の内容

- (1) プログラミング教育にかかわる教材およびカリキュラムの研究・開発に関すること
- (2) 学校およびスクールに係る集客や物販等の相互協力に関すること
- (3) 両者の情報発信や施策PRに関すること
- (4) 両者のホームページや各種 SNS などを利用した広報宣伝に関すること
- (5) 両者が主催する教育イベントやセミナー、講演会に関すること
- (6) その他必要と認められる事項

3. 今後の取り組み

初年度は、プログラミング言語「Scratch(スクラッチ)」を使用し、D-SCHOOL 北海道の「ゲーム制作コース」のカリキュラムに沿って、プログラミング及びデジタル教育の基礎を全中学生在が理解することを目指します。また、生徒がプレゼンテーションスキルを身に着けることを目的に、サツドラHDが9月に移転する予定の新社屋にて、生徒が制作したゲーム作品の学校関係者・保護者向け発表会を実施することも予定しています。

また、2021年度から中学校においてプログラミング教育が必修化となることから、シーラクス及び札幌日本大学学園の両者にてプログラミング教育のカリキュラムを作成し、来年度入学予定の新1年生からプログラミング授業を実施する予定です。

さらに、IoT、3Dモデリング、データ、クラウド、AI、デジタルアートといったテクノロジー全般を幅広く学習する機会を提供することにより、10代のうちに高レベルのテクノロジーに対する理解が備わった人材の育成を目指します。

◎授業スケジュール: 毎週土曜日

* 10月10日(土)～授業開始予定

4. 本提携先の概要(2020年7月1日現在)

学校法人 札幌日本大学学園

札幌日本大学中学校・高等学校

所在地: 北海道北広島市虹ヶ丘5丁目7-1

理事長・校長 浅利 剛之

Web サイト: <http://www.sapporonichidai.ed.jp/junior/index.html>

株式会社シーラクス(サツドラホールディングス株式会社 100%子会社)

所在地: 北海道札幌市北区太平3条1丁目2番18号

代表取締役社長 藤澤 義博

Web サイト: <https://coelaqanth.com/>

5. パートナーシップ提携契約締結日: 2020年7月29日



【本リリースに関するお問い合わせ先】

札幌日本大学中学校・高等学校

TEL:011-375-5311 E-mail:office_snuh@sapporonichidai.ed.jp

株式会社シーラクス(D-SCHOOL 北海道)

TEL:011-211-8321 E-mail:info@coelaqanth.com